

災害時避難行動要支援者個別支援計画の作成をお願いしている事業所の皆様方へ

9月ですね。夕方からは虫の音が心地よく聞こえてくる季節となりました。

素晴らしい活躍を見せていただいた「東京2020パラリンピック」では、熱戦に感動しつつも、多様性についていろいろと考えさせられましたね。その一方では、緊急事態宣言の9月30日までの延長という話題もありました。「コロナ禍」という表現もすっかり定着してしまった感じですね。

さて、先月の末、8月31日に開催いたしました、「介護支援専門員等を対象とした防災に関する研修会」には、大変多くの事業者の皆様方に、会場、オンライン（Zoom）の両方でご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。直前のオンライン開催への変更につきましてご不便をおかけいたしましたことにつきましては、改めましてお詫び申し上げます。

ファクスでのアンケートのご返信は、お忙しい中、ご対応いただき、又貴重なご意見などもいただきまして、大変ありがとうございました。講師の中島先生にも、皆様の受講してのご感想などを届けさせていただきました。

講師の中島先生からのお話は、非常に支援の困難な医療的ケア児・者に対して、避難訓練まで実施している、という実践に即した内容であり、私たちも改めて、在宅でのケアの大変さを実感するとともに、災害時の支援のイメージを改めて考え直さなければならぬと感じさせられました。

是非、皆様方の実践の中でも、お役に立てていただければと思います。

さて、現在、西の方から台風14号が日本列島に接近しているという気象情報が各メディアのニュースで流れています。かなり、勢力が強い台風で、現在は九州より西を北上しております。見た目、関東地方には影響がないようにみえますが、今後の台風の予想進路についてネットなどの情報を見てみると、この後進路を東向きに変え、今週末から関東へも大きな影響を及ぼす可能性がかなり高まってまいりました。

別添の資料に、気象庁からの現在の台風情報を添付いたしましたが、今後の台風情報には、アンテナを高く張って情報収集に努めていただき、皆様が支援している高齢者・障がい者又はそのご家族にも、是非、台風情報を届けていただけるとありがたく存じます。

とくに、週末の土日（17日～18日）の情報には注視です。今後、当方に新たな情報が届き次第、皆様方へもお知らせしたいと思います。

前回もお知らせしましたが、台風で避難を要するような災害が起きるかどうかの目安は、降り始めからの雨量（降水量）である程度予測できます。利根川上流域で、降り始め

